## 落花生の殻使った紙開 や手間がかかることを知

殻を使った紙を開発した。 ほんのりクリ 成が求められる中、 会社「みつわ」が、 -ム色で、落花生の殻の繊維が残る独特 SDG s (持続可能な開発目標) の達 千葉市美浜区の印刷 廃棄される落花生の



地消や環境問題に思いを寄せてほしい」 長(40)は「紙を手にとってもらい、 の風合いが特徴。名刺用などを中心に販 同社の大和久裕太社

## 環境や と期待している。 売を開始しており、

花生加工業者と雑談をし 大和久社長が取引先の落 始めたのは2022年。 いる。紙製造に取り組み トの印刷などを行って 1957年創業の同 チラシやパンフレッ 処理に時間 その処分費用は約490 和久社長は「落花生は千 廃棄されているとされ、 でも年間約1800%が ったのがきっかけだっ 葉が誇る産業。 0万円に上るという。 大 落花生の殻は県内だけ

廃棄にか 葉市美浜区の印刷会社

亘って職務に精励され 当社の発展に貢献され あなたは入社以来永年に

0000

感謝の意を表します

令和六年十一月七日 株式会社みつわ

大和久 裕太

William OSC 

社長。紙製のクリアファイル(左)や賞状などライ 落花生の殻を活用し紙を開発したみつわの大和久

ノアップもさまざま=千葉市美浜区のみつわ

た。 かる手間を減らすこと 史の中で初めて紙の製造 の貢献ができると考え なものにしていける。そ に着手した。 地域の産業を持続的 70年近い同社の歴

誤した」と振り返る。 も差が出るといい、大和 時期によって紙の質感に 紙にした。落花生の収穫 の殻を古紙パルプなどと パウダー状にした落花生 県の製紙会社に委託し、 かく粉砕。その後、福井 枝や虫を除去した上で細 で手作業でふるいにかけ た落花生の殼は、 久社長は「かなり試行錯 一緒に和紙作りの製法で 開発した紙は落花生の 加工業者から譲り受け 同社内

O 円 や問い合わせは同社の日 は1箱100枚で230 43(243)1511° (税別) から。

刷機も対応していて、 ろに残る繊維が特徴。 まれており、ところどこ 使用感だ。 通している紙と遜色ない 殻のパウダーが約15%含 印

社長は「この紙をきっか た」と好評。名刺用以外 対面の人とも落花生や千 きっかけになった」「初 始したところ、 ファイルなどのラインア 葉の話題で盛り上がっ 伸びている。購入者から 中心に売り上げが徐々に いきたい考えで、大和久 ップを用意している。 今後も種類を増やして 昨年4月から販売を開 「名刺交換時に会話の 賞状や紙製クリア

えたら。落花生の殻に注 上がれば」と見据えてい 産業と干葉がもっと盛り 目する人が増えて落花生 活用する企業がもっと増 落花生の殼を使った紙 落花生の殻を有効

落花生の殻を使った名 刺。繊維が交じり、独特 な風合いが特徴だ